※令和３年度以前入学生用

学校番号	２０６

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	現代文Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	精選　現代文Ｂ　改訂版　（筑摩書房）						
副教材等	「錬成現代文２＋」（尚文出版）「評論速読トレーニング 1000」（数研出版）ほか						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。活動の様子や内容も評価の対象とします。
・様々な種類の文章を読み、理系・文系を問わず広い教養を身につけましょう。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返り復習をしてください。
・授業開始 10 分間、速読練習を通して受験の勘所を養っていきましょう。
・提出物の期限を必ず守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

・表現された内容や事柄を、目的や場に応じて間違いなく理解し、その論理性を評価できる。
・人間と人間との関係の中で、互いの立場や考えを尊重しながら、言語を通して適切に表現したり的確に理解したりし、どのような問題に対しても他者と協働的に解決していく能力を身につける。
・言語を手掛かりとしながら物事を筋道立てて考え、どのような問題に対しても、他者の批判に耐えうる解決策を導けるような創造的かつ論理的な思考力を身につける。
・言語活動における表現と理解との具体的な場面を通して、目的や場に応じた言葉の適切さや美しさについての感覚を洗練し、表現と効果について吟味し、適切な評価や判断ができるようにする。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等） 定期考査	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価）	記述の確認及び分析 （ワークシート、原稿用紙） 定期考査	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４ 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
1学期	評論文を読むⅠ	【近代以降】 教材: 「自然を守るということ」	○		○	◎		a:論理の展開のしかたや要旨を捉え、教材文の論述の優れた点を読み取ろうとしている。 c:論理の展開のしかたを理解し、要旨を正しく理解している。 d:文章の論理的な型を学び、筆者の主張を読み取っている。	a:行動の観察及び記述の点検 c:ワークシート 定期考査 d:記述の確認及び定期考査
	小説を読む	【近代以降】 教材: 「急須」	○	○		◎		a:少年期、青年期の苦悩と成長に着目しながら、小説の可能性や感想について積極的に交流しようとしている。 b:作品を読んで考えたことについて、自分の意見を明確にして積極的に話し合っている。 d:場面の展開に即して、主人公の心の移り変わりを相対的に捉えている。	a:行動の観察及び記述の点検 b:発表 d:記述の確認及び定期考査
	評論文を読むⅡ	【近代以降】 教材: 「ことばへの問い」	○		○	◎		a:論理の展開のしかたや要旨を捉え、教材文の論述の優れた点を読み取ろうとしている。 c:論理の展開のしかたを理解し、要旨を正しく理解している。 d:文章の論理的な型を学び、筆者の主張を読み取っている。	a:行動の観察及び記述の点検 c:記述の確認及び定期考査 d:記述の確認及び定期考査

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
2学期	評論文を読むⅢ	【近代以降】 教材: 「無常ということ」	○	○	◎			a:論理の展開のしかたや要旨を捉え、教材文の論述の優れた点を読み取ろうとしている。 b:筆者の主張がどのようになされているか理解し、文章にまとめている。 c:定義や前提条件、根拠を押さえ、正しい語彙の知識をもとに、筆者の言わんとしていることや抽象的な概念を正確に理解し、論述している。	a:行動の観察及び記述の点検 b: ワークシート 定期考査 c:記述の確認及び定期考査

※令和３年度以前入学生用

	小説を読むⅡ	【近代以降】 教材: 「藤野先生」	○			◎	○	a:作品の背景にある社会状況や時代状況を踏まえ、「私」の行動や心情を理解しようとしている。 d:場面の展開に即して、「私」の行動や心情がどのように変化したのかを捉えられている。 e:作品の主題について理解を深めている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト
	評論を読むⅣ	【近代以降】 教材: 「死と向き合う」	○	○	◎			a:文章の論理的な展開をたどりながら読み進めようとしている。 b:筆者の主張がどのようになされているか理解し、文章にまとめている。 c:定義や前提条件、根拠を押さえ、正しい語彙の知識をもとに、筆者の言わんとしていることや抽象的な概念を正確に理解し、論述している。	a:行動の観察及び記述の点検 b: ワークシート 定期考査 c:記述の確認及び定期考査

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
3学期	小説を読むⅢ	【近代以降】 教材: 「美神」	○	◎			○	a:ストーリーの概要を登場人物たちの主張や描写から理解しようとしている。 b:美しい像と、それに魅せられた博士の恐ろしい死顔との対比から、作者の意図は何であったのか話し合っている。 e:作品の主題について理解を深めている。	a:行動の観察 b:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。